

「美しい森林づくり」の実現に向けて

平成19年2月23日
美しい森林づくりのための
関係閣僚による会合

日本は、森林が国土の3分の2を覆う、世界有数の緑豊かな森林国です。この森林を守り育てることは、未来に向け、国土を守り、豊かな水を育み、良好な地球環境を形成し、様々な生物を保全することにつながり、今生きている私たちの使命です。また「美しい国、日本」の礎ともなります。

しかし、今、我が国の森林は危機的な状態となっています。森林を支える林業・山村の元気がなくなり、残念ながら間伐などの手入れが不足している森林が増えています。決して、美しい森林とは言えない状況です。

近年、局地的な豪雨が頻発し、各地で山が崩れる等の災害が発生するなど、かけがえのない森林の機能の低下が危ぶまれています。

また、花粉の発生を少なくするため、きちんと手入れを行い、スギやヒノキの森林を広葉樹などの森林へ導くことも大切なことです。

このような中で、かけがえのない森林を守り育て、地球温暖化の防止にも貢献していくためには、森林づくりへ国民の皆様が大勢参加していただくことや、間伐材等の木材を生活の中で活かしていただくこと、そして、山村を生き活きとした地域に再生していくことといった取組を進めていく必要があります。

本日、[別紙のとおり「美しい森林づくり推進国民運動」の展開について](#)を関係閣僚間で確認し、政府一体となって美しい森林づくりの実現に向けた取組を進めていくことといたしました。

我が国には、古来より「木の文化」があります。日本人は暮らしの中に森の恵みを取り込み、そして、豊かな森林を育ててきました。あなたの手が森林を育むのです。

国民の皆様とともに、森林づくりへの参加や木を使うといった運動を展開し、緑豊かな美しい国土を子々孫々まで伝えていきたいと考えています。